

2026年度一般社団法人小平青年会議所 理事長所信

第43代理事長 小川健太

【はじめに】

私たち小平青年会議所は、1984年725番目の青年会議所として誕生いたしました。そして2010年には、日本の青年会議所の中で最初に一般社団法人格を取得した青年会議所となり、時代に先駆けて新しい形の組織運営へと歩みを進めてきました。以来、時代の変化に合わせながらも「明るい豊かな社会の実現」という普遍の理念を胸に、地域のため、未来のために歩みを止めることなく活動を重ねてきました。2026年、当会は創立43年目を迎えます。振り返れば、地域を思い、まちを良くしようと奔走された先輩方の情熱と努力が今日の私たちの礎を築き上げてくださいました。その想いをしっかりと継承し、地域関係団体の皆様や行政、そして市民の皆様と力を合わせ、愛する小平をより良いまちへと成長させていくことが、私たち現役世代に課せられた使命です。

【多文化共生のために】

私は昨年、青年会議所の運動を通して、留学生や外国人、海外にルーツを持つ方々と交流する貴重な機会を経験しました。最初は、言葉の壁や文化の違いに戸惑うこともありましたが、笑顔や思いやりで心が通じ合った瞬間、「違い」を越えたつながりの温かさを強く感じました。お互いの背景を知り、理解し合うことが、こんなにも豊かな時間を生むのだと実感したのです。こうした経験から、本年度はさらに多くの方が自然に国際交流を楽しめるきっかけをつくっていきたいと考えています。異なる文化や価値観に触れることは、私たちの視野を広げ、新しい発想や創造力を育む力になります。また、言葉や文化の違いを超えて笑い合い、支え合う関係を育むことで、まちの絆もより強くなると信じています。地域の人々が互いの違いを認め、尊重しながら関わることで、まちはより温かく、活気ある場所になります。私たちは、こうした多文化共生の環境を広げるため、交流の場やイベントを企画し、誰もが安心して参加できるまちづくりを進めていきます。違いを知り、尊重し、楽しむこと。それが、これからの小平をもっと豊かで魅力的なまちにする力になると信じています。多文化が交わることで生まれる

新しいつながりや笑顔を、地域全体で育んでいきたいと思っています。

【災害に強いまちづくりへ】

2026 年は東日本大震災から十五年を迎える年です。私たちの暮らす社会において、防災は常に重要なテーマであり、災害はいつ、どこで起こるかを予測することはできません。だからこそ、地域全体で備える姿勢が、これまで以上に求められています。小平青年会議所は、2023 年に小平市社会福祉協議会と「災害時におけるボランティア活動に関する協定書」を締結し、災害ボランティアセンターの設置・運営や訓練を毎年実施しています。本年度は、これまでの取り組みを次の段階へと発展させ、地域との連携をさらに深めていきます。住民や団体との“日常的なつながり”を大切にし、災害時における助け合いの基盤を築いていきます。「日常の備え」と「地域とのつながり」が、災害に立ち向かう“力”を育む礎になると考えています。また、私たちは「会員ひとりひとりが地域防災の当事者として行動できる」仕組みを強化し、小平に暮らすすべての人が安心して暮らせる環境を守るため、防災運動に誠実に取り組んでいきます。

【こどもたちのために】

未来を担うこどもたちに、学びと成長の場を届けることは、私たち青年会議所の大切な使命です。こどもたちは、無限の可能性を秘めています。新しいことに挑戦し、仲間と笑い合い、考え、工夫する中で、どんどん成長していきます。私たちは、仲間と一緒に楽しみながら、こどもたちが輝く環境をつくっていきます。本年度は、こどもたちが主役となり、私たち青年会議所メンバーと一緒に創り上げる「お祭り」を実施します。準備や運営に関わる中で、こどもたちは仲間と協力し、自分で考え工夫する楽しさや達成感を味わえます。笑いあい、助け合いながら活動することで、自己肯定感や協調性、社会性も育まれます。このお祭りは、こどもたちだけでなく、若者や地域の大人も一緒に楽しむ場です。世代を超えて関わることで、新しい繋がりや気づきが生まれ、まち全体がいきいきと活気づくと信じています。仲間と力を合わせてつくる喜びやワクワク感は、こどもたちにとっても忘れられない宝物になります。こどもたちは、まちとのつながりを感じながら「自分もこのまちの大切な一員だ」と実感し、誇りや愛着を育みます。私たちは、笑顔あふれる場を届け、こどもたちが未来に向かって力強く羽ばたく姿

を全力で応援します。

こどもたちの夢は、ここから大きく広がり、まち全体を照らす光になる未来を信じて、本年度、私たちは今日も取り組みます。

【仲間とともに】

青年会議所の運動は、「仲間」がいてこそ成り立ちます。

私は 2022 年に入会し、最初は一人でできることの限界を感じることもありました。しかし、そのたびに仲間が手を差し伸べ、助け合い、共に考え、支えてくれたことで、多くの挑戦をすることができました。この経験を通して、仲間と共に取り組むことの力強さと楽しさを身をもって実感しました。本年度、私たちの会員数は 20 名でスタートしますが、目標とする会員数は 35 名で、直近 10 年間で最多の会員数になります。私たちがこの数字にこだわる理由は明確です。地域に対する運動の影響力を最大化し、より多くの市民に JC 運動の価値を届けるため、そして現会員 20 名という現状を大きく超え、地域全体を巻き込み力強く動かす組織体制をつくるためです。さらに、この体制を築くことで、2 年後に迎える 45 周年の節目を、過去最多の仲間とともに迎え、地域や次世代に力強いメッセージを示すことができます。また青年会議所の活動は、家庭や仕事との両立の中で続けられるものであり、だからこそ価値があります。限られた時間を工夫し、支えてくれる家族や仲間感謝をしながら挑戦を続ける姿は、次世代にとっても大きな学びとなります。そして、同じ境遇を理解し合える仲間がいるからこそ、互いを励まし合い、高め合いながら活動を続けることができるのです。仲間を増やすことは、志を同じくする仲間と共に挑戦し、地域に価値ある活動を届ける力をさらに強めることです。新しい仲間との出会いは、新しい可能性を生み出します。そして、仲間と共に笑い、支え合いながら挑戦を楽しむことこそが、青年会議所の魅力であり、私たちが未来に伝えていきたい大切な力だと考えています。

【結びに】

私たちの運動の本質は、「誰がために行動するか」そして「誰と共に歩むか」です。どんなに立派な理念も、共に笑い、共に悩み、共に挑戦する仲間がいてこ

そ実を結びます。私は、青年会議所の最大の魅力は“仲間と共に創り上げる喜び”にあると感じています。一人ではできないことも、仲間と力を合わせればきっとできる。誰かの想いが誰かの背中を押し、やがて大きな力となって地域を動かしていく。だからこそ、私は「何をやるか」よりも「誰とやるか」を大切にしたい。仲間と共に語り合い、支え合い、笑いながら挑戦を続けることが、このまちを前へと進める一番の力になると信じています。また、私たちの一年間の活動は、まさに「終わりなき旅」のようなものです。道の途中では迷いや悩み、困難にぶつかることもあります。高ければ高い壁の方が、登りきったときの喜びは大きい。そう信じ、仲間と手を取り合い、笑い、学び、挑戦し続けます。新しい可能性を信じ、もっと大きな自分を探しながら歩むその旅こそが、私たち青年会議所の醍醐味であり、未来への力です。

本年度、私たちはこの想いを胸にスローガン【勇往邁進】を掲げます。「勇往邁進」とは、困難を恐れず、信念を貫き、仲間とともにまっすぐに進むこと。変化の時代にあっても、私たちは歩みを止めません。仲間と共に笑顔で挑戦し、我がまち小平の未来を切り拓き、明るい豊かな社会の実現に向け、全身全霊で邁進してまいります。

2026年度一般社団法人小平青年会議所スローガン

勇往邁進